2019 年 2 月 4 日
Kyoto Robotics 株式会社
スパークス・グループ株式会社

Kyoto Robotics が未来創生 2 号ファンドなど 3 社から 8 億円の資金調達

研究開発だけでなく販売も加速へ

知能ピッキングロボットの製造、販売を行う Kyoto Robotics 株式会社（社長：徐剛、以下「キョウトロボティクス」）は、スパークス・グループ株式会社（代表取締役 CEO：阿部修平、以下「スパークス」）が運営する「未来創生 2 号ファンド」など計 3 社から計 8 億円の資金調達を行ったことを、お知らせいたします。スパークスは、2016 年 5 月、産業革新機構や三菱 UFJ キャピタルと共に、未来創生（1 号）ファンドでキョウトロボティクスの前身の三次元メディアへの投資を実行していて、同社への投資は 2 回目となります。キョウトロボティクスは、調達資金で、研究開発のみならず、販売も加速させていく考えです。

■ キョウトロボティクスの概要

キョウトロボティクスは 2017 年 4 月より従来の FA 向け 3 次元ロボットビジョンセンサ事業に加えて、物流向けに知能ピッキングロボットの開発販売を開始しました。2018 年 1 月 1 日より、社名を三次元メディアからキョウトロボティクスに変更し、ロボティクスの会社という位置づけを明確にしました。2 月 1 日には、滋賀本社に加えて東京本社も開設し、東京における事業拡大をしてきました。そして 10 月には、ロボットアーム搭載可能な小型軽量 3 次元カメラを開発している株式会社 YOODS と資本業務提携し、物流・FA 向けの 3 次元ロボットビジョン・知能ピッキングロボットのソリューション提供を加速させています。更に、2019 年前半、中国でも合弁会社を設立し、中国でも事業を展開していきます。

■ 「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行 を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。現在、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けています。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に投資を行い、米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しています。(https://mirai.sparx.co.jp/）。2018 年下半期からは、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました 2018 年 12 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、925 億円となっています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

- Kyoto Robotics 株式会社　広報室
  TEL：03-6457-0899/ Email：morooka@kyotorobotics.co.jp
- スパークス・グループ株式会社 広報室
  TEL: 03-6711-9100 / Email: pr_media@sparxgroup.com